

# カーシートSTD(スタンダード)

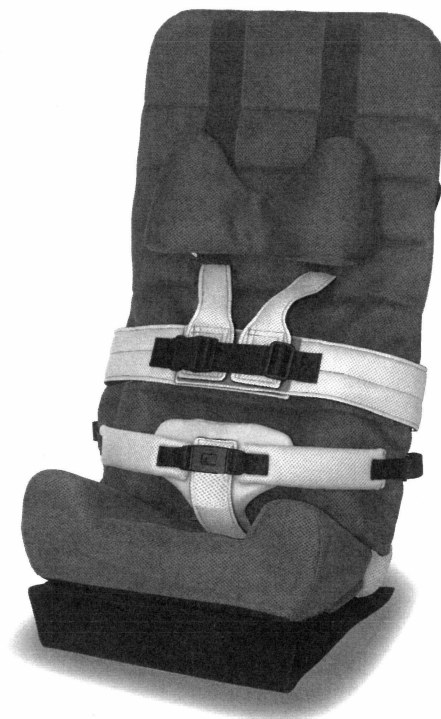
## 取扱説明書

カーシートSTDを快適にお使いいただくための大切な内容が記載されています。お使いになる前によくお読みいただき、また必要などときにはいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

本製品は車内での姿勢の安定をはかることが目的の車載用姿勢保持具であり、一般に販売されているチャイルドシートとは異なります。必ずシートベルトを併用してご使用ください。

### カーシートSTDの特長

- 調節スリングシートによる背張り調節
- 座モールドクッション
- 座面奥行調節機構
- 体幹サポートインナーパッドによるサポート調節
- 胸・肩ベルト、股ベルトを基本装備
- シートは通気性を考慮したメッシュ素材



## 目次

- 安全にお使いいただくために……………P1・2
- シートベルト併用のこと……………P3
- 各部の名称……………P3
- 製品構成……………P3
- 使用前点検……………P3
- 各部の取り扱い……………P4
- 各ベルトの本体への取り付け方法……………P5
- 調節スリングシートについて……………P6
- 体幹サポートインナーパッドについて……………P6
- 車両への取り付け方……………P7
- お手入れ・メンテナンス……………P8
- 仕様……………P8

- ⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● **警告** (使い方を誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。)

---

- ❗ 必ず自動車の背もたれに固定して使用してください。
- ❗ 必ず自動車のシートベルトを併用してください。シートベルト着用の際は、シートベルトが首などにかからないように注意してください。シートベルトの取り扱いについては自動車に備え付けの説明書に従ってください。  
(身体状況などによりベルトの着用が困難な場合は、処方者や取り扱い業者にご相談ください。)
- この製品は車内での座位保持を目的とした車載用姿勢保持具であり、国土交通省の認定等を受けた「チャイルドシート」ではありません。万一の事故の際の安全は保証いたしかねます。
- ❗ 処方されたベルト類、胸ベルト・股ベルト・肩ベルト等を必ず使用してください。  
(身体状況などによりベルトの使用が困難な場合は処方者や取り扱い業者にご相談ください。)
- ❗ 姿勢を直したり、ベルトを調節したりするときは、必ず車を安全な場所に停止してからおこなってください。
- ⊘ 本人を乗せたままの放置はしないでください。
- ⊘ 本人を座らせた状態で抱えて移動しないでください。
- ⊘ 子供に操作させないでください。
- ⊘ フレームの折れ・曲がり、ベルト類のいたみ、各部の破損など壊れた状態では使用しないでください。
- ⊘ 火気に近づけないでください。シートが燃えたり、フレーム本体が熱くなり、火傷するおそれがあります。
- ❗ 各部のガタやねじのゆるみは、思わぬ事故につながる可能性があります。定期的に不具合がないか確かめてください。
- ⊘ 改造や分解はしないでください。

## ● 注意 ( 使い方を誤ると、人が傷害を負う可能性、または物理的障害が 発生する可能性が想定される事項です。 )

### ❗ 医師の処方で作られた場合

⊖ 本人以外での使用はしないでください。

(個人用に処方されたものとなりますので、安易に貸し出したりしないでください。)

⊖ 処方目的以外での使用はしないでください。

❗ 直射日光や車内の温度上昇などで本体、バックル、金具部分等が熱くなっていることがあります。すぐに本人を乗せると火傷や体調不良を引き起こすおそれがあります。乗せる前に各部に触れてみて、熱くないことを確認した上で使用してください。

❗ 可動部分がありますので、指などをはさまないように注意して操作をおこなってください。

❗ 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足をはさむなどして、けがをするおそれがありますので十分に注意してお取り扱いください。

⊖ 子供の遊び道具として使用しないでください。

⊖ 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取り扱い、落としたり、たたいたりなど強い力や衝撃を与えないでください。フレームが破損することがあります。

⊖ 本人を座席や背もたれ等に立たせないでください。

⊖ 座席から身体を乗り出したような姿勢では使用しないでください。

⊖ 保護者・介助者等が寄り掛かったり、腰掛けとして使用しないでください。

⊖ 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。

⊖ 調節スリングシートやインナーパッドが不適切な状態での使用はしないでください。

⊖ 背・座シートを外した状態で使用しないでください。

❗ 本人の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じることがあります。そのような場合には、直ちに使用をやめ医師の診察を受けてください。

❗ 本人の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。

❗ 定期的に処方者・取り扱い業者のチェックを受けてください。

⊖ からだに合わない状態で使用しないでください。本人の成長や状態の変化を感じたときは、すみやかに処方者のチェックを受け、適切な指導のもとに取り扱い業者の調整を受けてください。

❗ 水にぬれた場合、そのままにしておくと部品に錆びが出ることがあります。乾いた布ですみやかに拭きとってください。

⊖ 入浴・プール等、水中での使用はしないでください。

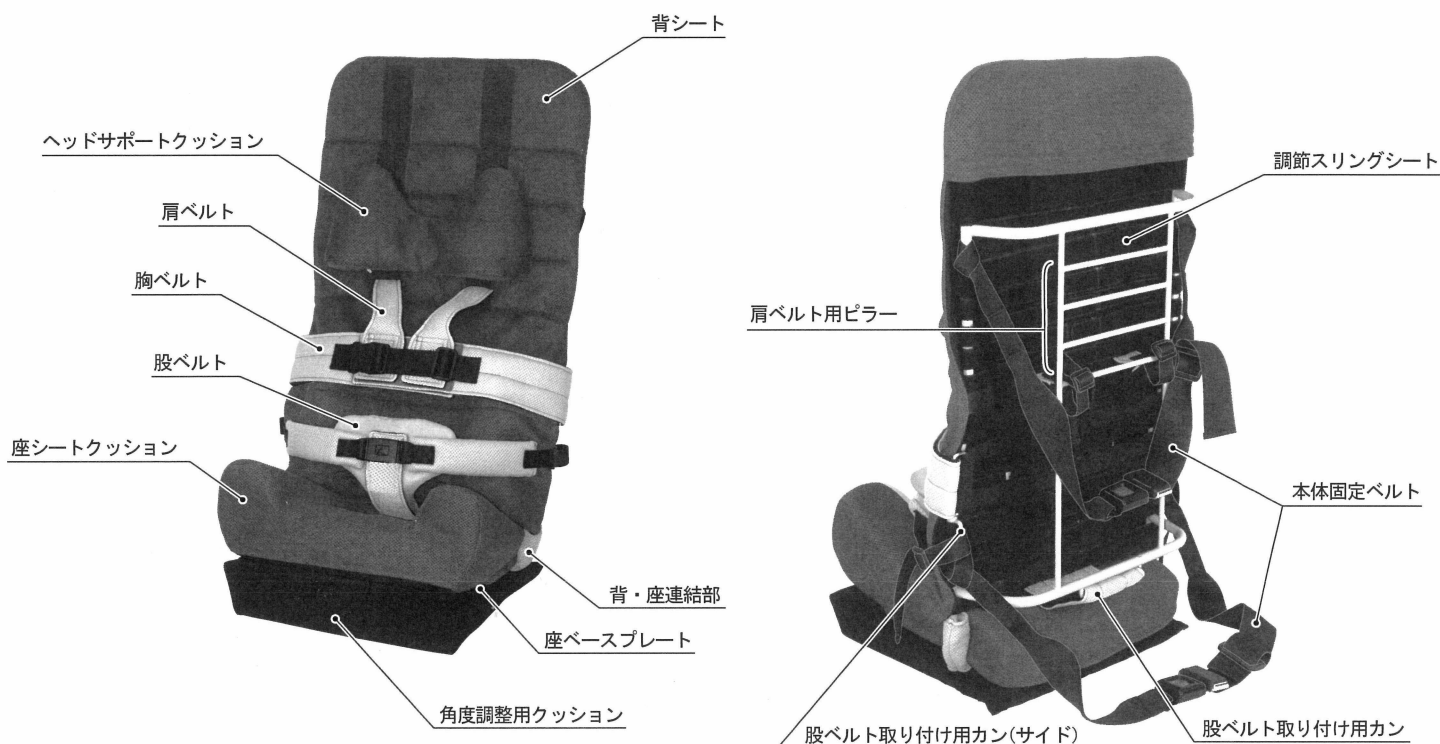
❗ 保管するときは、湿度の高いところ、雨が降りかかるところを避けて、風通しのよい屋根のあるところで保管してください。

使用を取りやめるときには(不要になったときには)取り扱い業者にご相談ください。

## シートベルト併用のこと

- この製品は車内での座位保持(安定)を目的としたものであり、万一の事故の際の衝突安全規準を満たした物ではありません。
- 安全のために必ず自動車のシートベルトを併用してください。  
市販の小児用のシートベルト調整用金具等を利用してシートベルトを正しく着用してください。  
シートベルト着用の際はベルトが首などにかからないように注意してください。  
シートベルトの取り扱いについては自動車に備え付けの説明書に従ってください。

## 各部名称



## 製品構成

	数	量
●基本フレーム	1	
●調節スリングシート(背)	1	
体幹サポート インナーパッド	体 幹	左右1対
	骨 盤	左右1対
●本体固定ベルト	2	

	数	量
●シートユニット	背シート	1
	座シートクッション	1
	ヘッドサポートクッション	1
	胸ベルト	1
	肩ベルト	1
	股ベルト	1

## オプション

- 角度調整用クッション
- テーブル

## 使用前点検

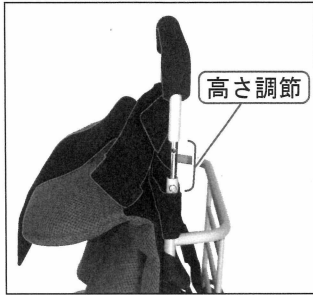
- ネジのゆるみやガタがないことを確認してください。
- 車のシートへの取り付けが、ゆるみなく正しく固定されていることを確認してください。
- 背もたれ角度、座面(股関節)角度が正しく設定されていることを確認してください。  
(※背・座面角度については、かかりつけの医療機関にたずねてください。)



## 各部の取り扱い

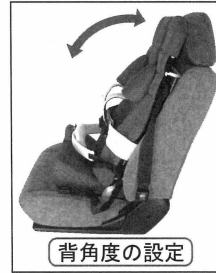
### ●背高さ調節

ヘッドパイプ部は、初期設定より40ミリ伸ばすことができます。ボルト・ナットによる差換え式です。



### ●背座両面角度の設定について

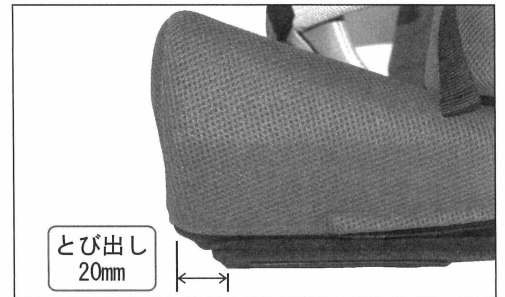
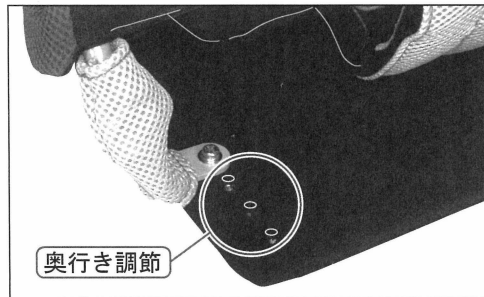
背角度は自動車のシートのリクライニング機構でおこなってください。カーシート全体の角度を設定する場合は、オプションの角度調整用クッションを用いて背座両面角(股関節)の角度も設定してください。



角度設定を変更する際は、固定ベルトを一旦外して角度設定した後に再び取り付けてください。

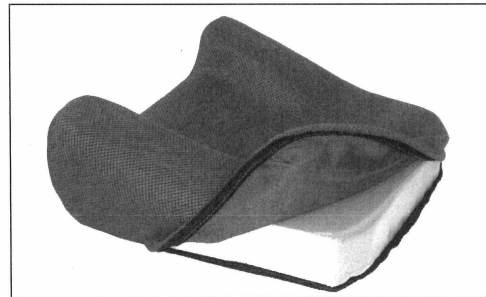
### ●座奥行き調節

背座連結部のベースプレート側に埋め込まれているナット部分で、20ミリごとに奥行きの調節がおこなえます。座クッションのマジックの張り付け位置でも微調整がおこなえますが、ベースプレートからのとび出しを20ミリ程度にしてください。



### ●座シートクッションについて

座シートクッションには、臀部の前すべりを防ぐ目的のアンカーサポート(ウェッジ)と脚の開きを支える外転防止パッドが備わっています。カバーを洗濯する際は、後方のファスナーを開けて中のウレタンクッションを必ず取り出してください。

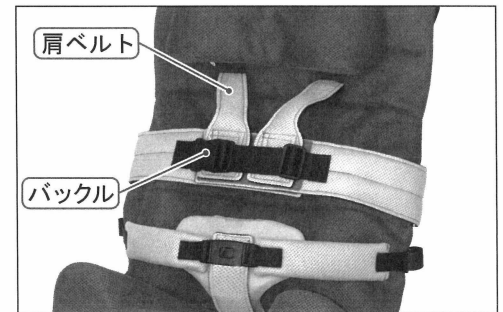
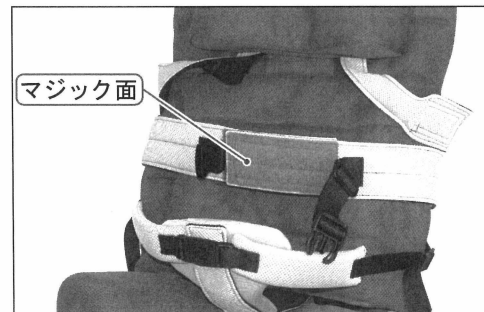


決して、クッションがはいつたまま洗濯しないでください。ウレタンクッション、カバーとも乾かないばかりか、ウレタンクッションそのものが劣化してしまいます。

## ベルトの着用について

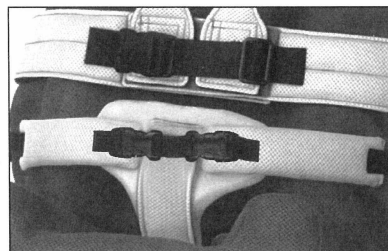
### ●胸ベルト

胸ベルトはマジック面で貼り合わせた後、肩ベルトを装着してから、正面のバックルを差しこんでください。体幹部の安定をはかります。



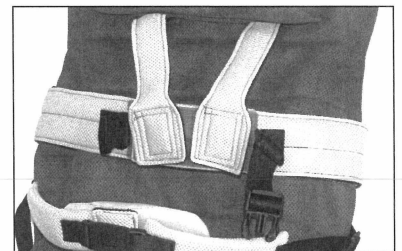
### ●股ベルト

股ベルトは正面のバックル(左右)を差しこんで装着してください。骨盤部の安定をはかります。



### ●肩ベルト

肩ベルト(左右)を胸ベルトのマジック面に、しっかり貼り合わせてください。肩の安定をはかります。

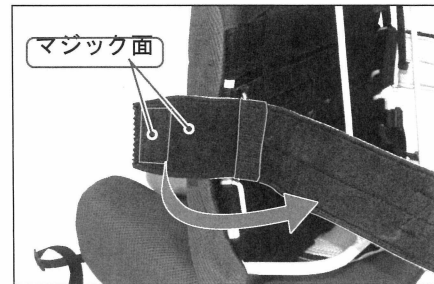
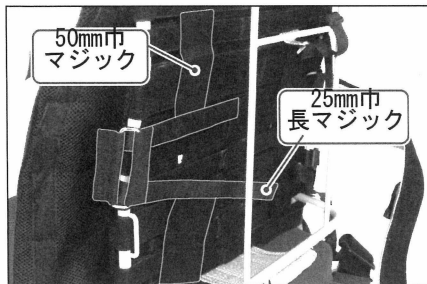
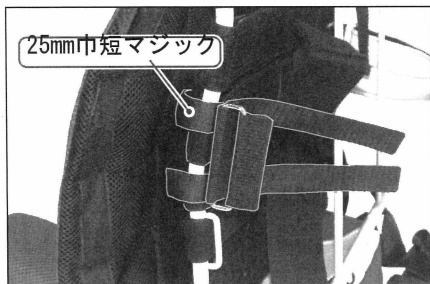


●ベルト類は安全のため、体調に影響がない範囲で必ず装着してください。  
●ベルトに余裕がありすぎると、自動車の加減速やカーブを曲がるなどのときに身体が安定せず、姿勢もくずれやすくなります。身体に合わせて長さ調整を適切におこなってください。

## 各ベルトの本体への取り付け方法

### ●胸ベルト取り付け方法

胸ベルトは、胸ベルト専用取り付け用部品を用いて背フレームの背スリング面で固定します。



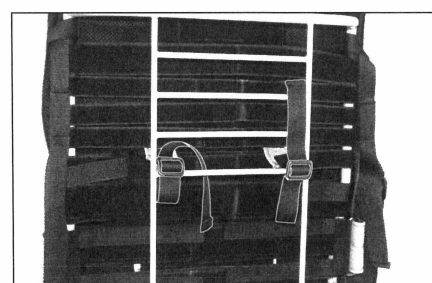
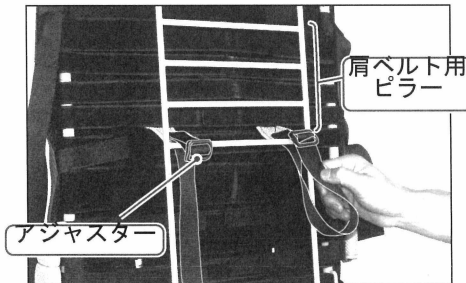
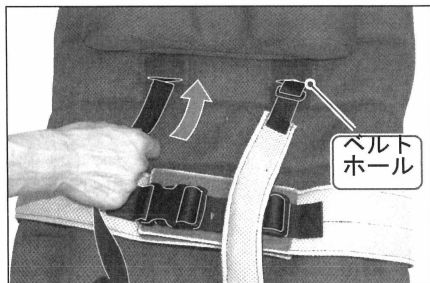
① 金属製のカンとマジックテープで構成された、胸ベルト専用取り付け部品（左右一対）で本体背フレームに固定します。25ミリ幅の短いマジックテープを背シートとスリングシートの間差し込み、スリングシートに貼り付けてください。

② 25ミリ幅の長いマジック付織テープは背フレーム裏のスリングシートに貼り付けて、織テープの上下にある50ミリ幅の両面マジックテープもスリングシートに貼り付けてください。この取り付け部品で高さ調節がおこなえます。

③ 胸ベルト本体は、金属カンに通し折り返してマジック面で貼り付けます。この折り返し部分で調節がおこなえます。

### ●肩ベルト取り付け方法

肩ベルトは、背シートのベルトホールを通して背フレーム裏の肩ベルト用ピラーで固定します。



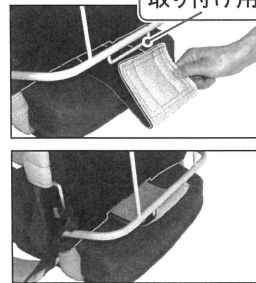
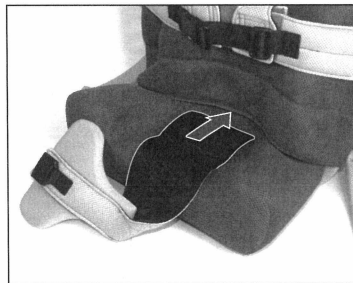
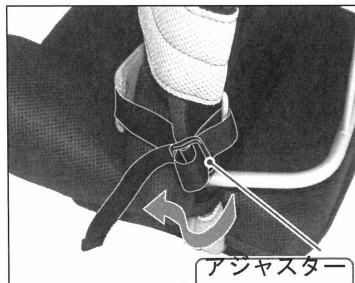
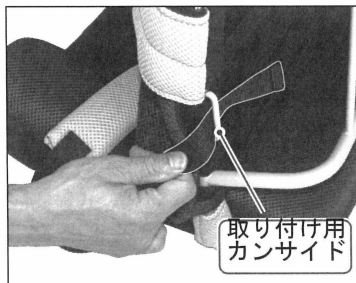
① 肩に近い高さのベルトホールに織りテープを通します。

② その延長線上に位置する肩ベルト用ピラーに織テープを折り返してアジャスターに通してください。

③ このアジャスターの部分で長さ調節がおこなえます。肩ベルトは、ベルトホールの位置と肩ベルト用ピラーで、体格や成長に合わせて高さ調節がおこなえます。

### ●股ベルト取り付け方法

股ベルトは、本体フレームの外側(左右)にある取り付け用カン(サイド)と背フレーム裏下方のヌキパイプ中心にある取り付け用カンで固定します。



① 股ベルトの左右にある腸骨パッドの織テープを取り付け用カン(サイド)に通します。

② 織テープを折り返してアジャスターで固定します。このアジャスターの部分で胴回りの長さ調節がおこなえます。

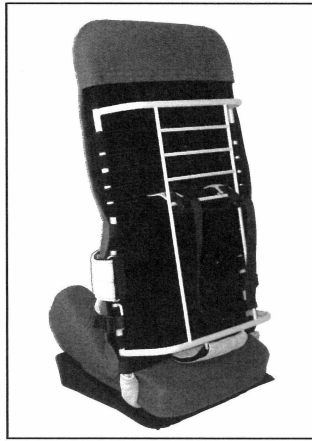
③ 股ベルト本体中心のマジックテープは座面と背シートのすき間を通し、背フレーム裏の取り付け用カンで折り返してマジック面で張り合わせて固定します。この折り返し部分で前後の調節がおこなえます。



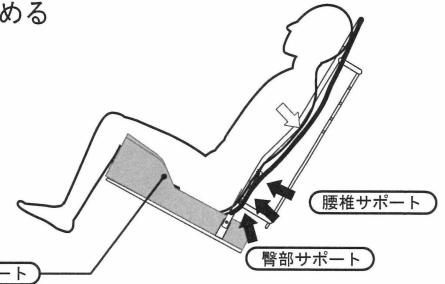
- ・使い始める前に各ベルトを設定するとき、また成長など身体状況の変化により長さ調節をおこなうときは、ベルトの取り付け方法に誤りや付け忘れが無いかの確認・点検を十分におこなってください。
- ・お手入れなどでベルトを一旦取り外して再び取り付けるときも、同様に取り付け方法の確認・点検を十分におこなってください。

## 調節スリングシートについて

帯状のスリングベルト(マジック式)の張り加減を調整することで、使用される方の身体特性に個別に対応することができます。矢状面に加え、水平面の調整もおこなえます。



➡ 張る  
⇨ ゆるめる



背もたれは、①骨盤の前後の傾き(背もたれ下部)、②体幹の前後の傾き(背もたれ中央～上部)③腰部の支え(背もたれ腰部)を考慮して調整します。また、左右の張りを変えることができるので、側弯による背中のおろっ骨隆起などの非対称にもある程度対応できます。



・長期間使用するうちにスリングシートのたるみが生じることがあります。このようなときはシートの張り具合を再度調整してください。

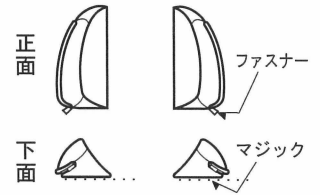
## 体幹サポートインナーパッドの取り扱いについて

調節スリングシートの張り具合で、骨盤が前方に滑り出しにくくなるように、また体幹部を背もたれに預けていられるように矢状面のサポートを調節します。調節スリングシートの水平面でのカーブの形状により、側方からのサポートがある程度得られますが、側方からのサポートを追加する目的で体幹サポートインナーパッドを用います。

体幹サポートインナーパッドは、右記のように4個セットになっています。調節スリングシートにインナーパッドを取り付け、その上から背シートを取り付けて使用します。

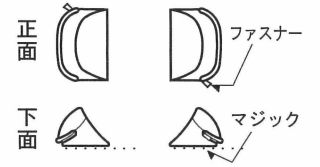
### 体幹パッド (2個)

- ・左、右別
- ・ファスナーがついている方が外側、先端が細い方が上側です。
- ・マジック面がスリングシート側です。



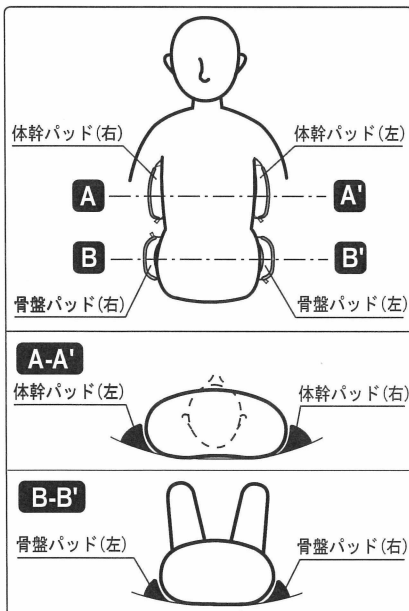
### 骨盤パッド (2個)

- ・左、右共通
- ・ファスナーがついている方が外側です。
- ・マジック面がスリングシート側です。



① 調節スリングシートの張り調節を先におこないます。

② 体幹パッド、骨盤パッドを本人の状況・体型に合わせて、またサポートの方向に配慮してパッドを調節スリングシートに取り付けます。



### 【体幹パッド】

- 側弯などの影響で姿勢の崩れに左右差がある場合には、取り付け位置・高さが左右非対称になる場合もあります。
- おろっ骨下部から胸郭の重みを受け止めるように体幹部の側方をサポートし、体幹部の横倒れや水平面方向のころがりを防ぐよう、調節スリングシートと胸郭とのくさび状の隙間を埋めるように取り付けます。

### 【骨盤パッド】

- 骨盤部の中央あたりの高さで、骨盤の傾きなどにも注意して、骨盤部からの横倒れや水平方向のころがりを防ぐよう、調節スリングシートと骨盤部とのくさび状の隙間を埋めるように取り付けます。

③ 必要に応じてインナーパッドの形状を変更調節します。

- パッドはファスナー式になっています。必要に応じ、中のクッションを取り出し、クッションを削るなどして形状の調整をしてください。

## 車両への取り付け方

※自動車の車種によってシートの大きさや形状、リクライニング機構の操作が異なりますので、取り付けに際しては自動車の取扱説明書や注意事項などをご確認ください。



① 本体を車のシートに載せてください。



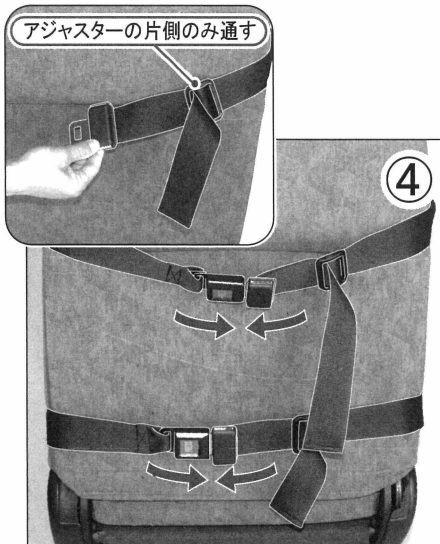
② 車のシートのリクライニング機構で背の角度を決めてください。

⚠ 背の角度設定は、医療機関のスタッフ、取り扱い業者に相談してください。



③ 背・座両面角度の設定を確認してください。必要に応じて角度調整用クッションを使用してください。

⚠ 背・座両面角度の設定は、医療機関のスタッフ、取り扱い業者に相談してください。



④ 本体固定ベルトをアジャスターの片側のみに通した状態にして本体固定ベルト(2本)を固定してください。

⚠ 固定ベルトは、ずれにくいところ、抜け落ちないところ、また、シートのリクライニング装置など機構に干渉しないところにまわしてください。まわす長さに変化のない一定のところを最短距離で固定してください。

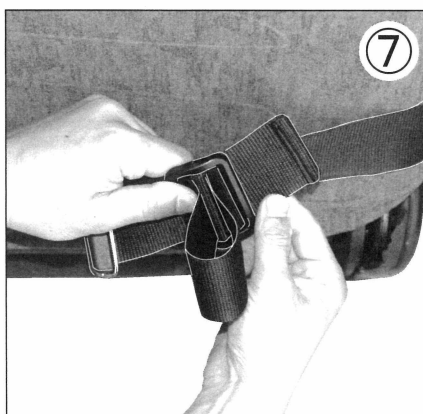


⑤ 固定ベルトを引っ張って締めてください。

⚠ ゆれやぐらつきがあるときは、一旦本体固定ベルトのバックルをはずしてベルトを締め直してください。



⑥ 本体がしっかり固定されていることを確認してください。

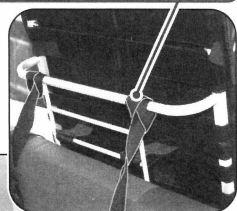


⑦ 一旦、バックルを外し、ベルトの長さが変わらないように注意して、本体固定ベルトの余りをアジャスターに通してください。

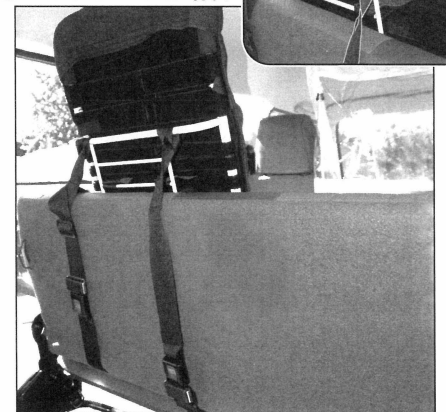


⑧ 再度、ゆれやぐらつきを確認してください。ゆれやぐらつきがあるときは、一旦本体固定ベルトのバックルをはずしてベルトを締め直してください。

背よキパイプに取り付け



◎ベンチシートの場合



◎ベンチシートなどの横に長いシートの場合は、固定ベルトを縦方向(背よキパイプ)に取り付けて、シートに固定することもできます。



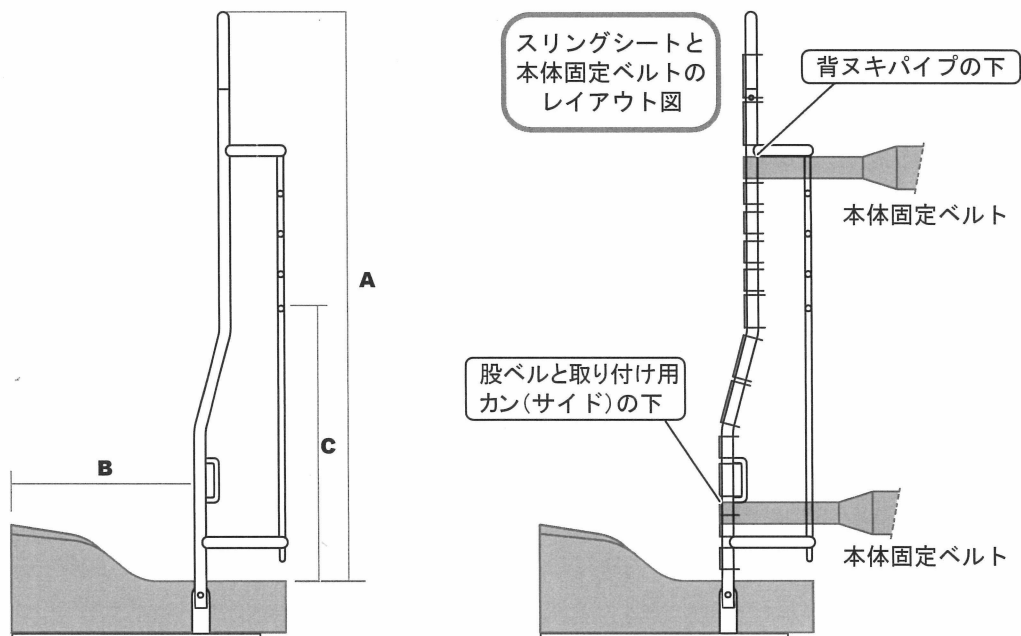
## お手入れ・メンテナンス

- ネジのゆるみやガタがでてきたときは、取り扱い業者にご相談ください。
- シートを洗うときは、マジックテープが内側になるように二つ折りにした状態で、きれいに折りたたみ、軽く押し洗うるか、洗濯ネットに入れるなどして、生地を傷めにくい方法で洗ってください。洗ったあとは、陰干しして乾燥させてください。
- インナーパッド、ヘッドサポートは、ファスナーによる開閉式です。ファスナーを開き、中のクッションを取り出してからカバーを上記の要領で洗濯してください。
- 泥や汚れを落とすときは、強く絞ったタオルなどで拭いてください。
- フレームは、直接水をかけて洗わないでください。各部に錆が発生して故障や事故につながる恐れがあります。フレーム塗装部分をたわしなどで強くこすると傷が付き、塗装が剥がれることがあります。
- 調整や修理などは、まず処方された医療機関もしくは、取り扱い業者にご相談ください。
- 背シート・座連結部のカバーは、フレーム本体を覆うように作られています。フレーム本体が露出しないようにしっかり被せてください。
- 保管するときは、湿度の高い場所や雨が降りかかる場所を避けてください。雨や水のかからない風通しのよい場所で保管してください。雨や水にぬれると、各部品、機構にサビが生じるなどして故障の原因になります。また湿度の高い場所では、シートにカビが生えるなどして生地を損なうばかりでなく、健康に害をおよぼすおそれがあります。

## 仕様

	単位	Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ
背幅	mm	390	390	410
座幅	mm	390	390	420
背高さ (A)	mm	664~704	749~789	781~821
座奥行 (B)	mm	203~303	263~343	293~373
肩ベルト取付パイプ高さ(C)	mm	331~451 (30mmピッチ4段階)	371~491 (30mmピッチ4段階)	444~564 (30mmピッチ4段階)
全幅×全長×全高(W×L×D)	mm	420×325~400×760~800	420×395~430×835~875	450×425~460×860~900
基本重量	Kg	約4.5	約4.8	約5.1
調節スリングシート		ナイロン100%		
シートユニット		ポリエステル100%		
対象身長	cm	約90~110	約100~130	約120~140

※基本重量=基本のシートユニットを取り付けた場合の重量



---

取り扱い業者・連絡先